

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
実	ジツ みのる まこと みちる		説文・宀部	馬王堆	居延漢簡	十七帖	集字聖教序 元瑒墓誌 孔子廟堂碑	五経・宀部	法華義疏
實	人②		散氏盤 郭店楚簡	馬王堆 尹宙碑			張猛龍碑 九成宮		三十帖策子
宗	シュウ ソウ たつとぶ むね		甲骨 侯馬盟書 睡虎地秦簡	馬王堆	乙瑛碑 王獻之	集字聖教序 孫秋生造像	孔子廟堂碑		法華義疏
宙	チュウ そら		甲骨	武威漢簡	曹全碑 摩訶天子文		皇甫誕碑		
定	テイ ジユ さだか さだまる さだめる		甲骨 金文 睡虎地秦簡	銀雀山竹簡	石門頌 集字聖教序		鄭義下碑 皇甫誕碑 五経・止部		法華義疏
宕	トウ ずぎる		甲骨 金文	説文・宀部	馬王堆	曹全碑 淳化閣帖	雁塔聖教序		王勃詩序
宝	ホウ たから		甲骨 何尊 宝山楚簡	説文・宀部	西狹頌	集字聖教序	比丘思慧造像 九成宮 五経・宀部		法華義疏
寶	②		散氏盤 宝山楚簡	説文・古文			道因法師碑		
寶	②						珣 孔穎達碑		

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころこ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
												実 中国
												實 台湾
												實 香港
												宗 中国
												宗 台湾
												宙 中国・台湾
												定 中国・台湾
												定 香港
												定 香港
												宕 中国・台湾
												宝 中国
												寶 台湾
												寶 香港
												寶

【実】「實」の草書からできた字体だろう。この字体は当用漢字表の発表の時点であったし、太宰も使っているから、たぶん戦前から普通に使われていたのだろう。  
 【定】五経文字では止部に掲載されている。  
 【宝】「寶」「實」は異体字。説文にあるのは「寶」だが、実例

のほとんどが「寶」。道因法師碑は「寶」。「宝」は中国では明代に、日本では江戸期に見られる。漢字要覧では「實」が正体になっているが、漢字整理案では標準が「寶」になっている。



親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
害	ガイ そこなう わざわい								元暦萬葉④ 元照墓誌 等慈寺碑 干祿字書 豊替指歸
害									元暦萬葉④ 節用 六七 陸軍(別体) 五経・宀部 豊替指歸
害									陸軍(別体) 毛公鼎 郭店楚簡
宮	キュウ クウ みや いえ								九経・宀(篆文) 王勃詩序
									九経・宀(隸省)
									居延漢簡
宰	サイ つかさどる								聖武天皇集
									武威漢簡
									武威漢簡
宵	ショウ よい								干祿字書
									燕平石経
									淳化閣帖 張猛龍碑 等慈寺碑
容	ヨウ いれる かたち ゆるす								王勃詩序
									西狹頌 智永千字文 集字聖教序 高貞碑 雁塔聖教序
									燕平石経
									郭店楚簡 説文・古文

【宮】甲骨、金文(散氏盤)、睡虎地秦簡は「宀+口+口」の字体。説文解字は「宀+口+口」の字体。説文の親字に採用されている「宀+呂」が正(統)字体、「宀+口+口」が通(用)字体(体)ということになる。中国では「宀+口+口」を採用。日本と台湾と香港は「宀+呂」を採用。

【宵】1981年(昭和56年)に当用漢字表外から常用漢字表に追加された。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
害	害	害	害	害	害	害	害	害	害	害	害	害
												害
												害
												害
宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮
												宮
												宮
												宮
宰	宰	宰	宰	宰	宰	宰	宰	宰	宰	宰	宰	宰
												宰
												宰
												宰
宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵	宵
												宵
												宵
容	容	容	容	容	容	容	容	容	容	容	容	容
												容
												容
												容

※当用漢字字体表の下の○×は、複数の字体がある字種のうち昭和24年当時、岩田母型製造所での母型の有無を示す。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
寄	キよせる よる 教5 常①		寄	寄	寄	寄	寄	寄	寄
寂	ジャク セキ びしい ひれる 常①		寂	寂	寂	寂	寂	寂	寂
宿	シュク ヤド ず やどる 教3 常①	宿	宿	宿	宿	宿	宿	宿	宿
寅	イン とら 人①	寅	寅	寅	寅	寅	寅	寅	寅
密	ミン ひそか 教6 常①	密	密	密	密	密	密	密	密

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
寄	寄	寄	寄	寄	寄	寄	寄	寄	寄	寄	寄	寄
寂	寂	寂	寂	寂	寂	寂	寂	寂	寂	寂	寂	寂
宿	宿	宿	宿	宿	宿	宿	宿	宿	宿	宿	宿	宿
寅	寅	寅	寅	寅	寅	寅	寅	寅	寅	寅	寅	寅
密	密	密	密	密	密	密	密	密	密	密	密	密

